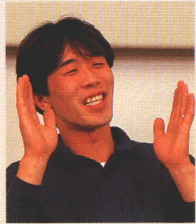


[ザ・談会]



高橋 清仁さん
昭和43年生まれ
月館字町在住
商工会青年部に所属し、積極的に活動中。自宅で酒屋を営み、後を継ぐ。



渡辺里加さん
昭和47年生まれ
御代田字上関在住
北海道旭川出身、主婦、小手姫おもしろ塾「くれぱす」代表を務める。



半沢 稔さん
昭和44年生まれ
月館字町在住
月館町役場で運転手として勤務。東京に就職後、Uターンで地元に戻る。



菅野 つきさん
昭和47年生まれ
下手渡字作ノ内在住
第3代ミス小手姫。町外の小学校に勤務している。
地元バレーボールチームで活動中。

高橋 でも渡辺さんは、サークルのリーダーなんでしょう。

渡辺 うん、「小手姫おもしろ塾」ね。まだ始まったばかりですけど。

菅野 私は今、地元のバレーボールチームに入ってます。地区対抗の大会も多いんですよ。

半沢 僕は野球チームに入ってるくらいかなあ。この町はスポーツがわりと盛んなんだよね。

渡辺 でも、参加する人が決まってしまうことも多いでしょう。

菅野 そうですね。バレーも、都合があつてなかなか続けられないという方も多岐にわたります。

半沢 同じ年代で集まる場所が少ないんです。他の町なら喫茶店や施設があるんですけど。



渡辺 施設と言えば、「つぎだて花工房」に行ってみましたよ。お母さんと一緒に。

菅野 料理も美味しいし、お風呂もいいですよ。遠くの親戚や友人を連れていくのにちょうどいい宿泊施設ができたなあと思う。

高橋 いいなあ、私は配達に行つたことしかないんですよ。(笑)

半沢 お風呂と言えば、福祉センターの四季の湯も自由に入れるんですよ。

高橋 あそこは若い人も行つていいの？

半沢 いいんですよ。利用する人は何度も足を運んでみるみたいです。

渡辺 若い人のための交流施設があればいい。福祉センターみたいな。私くらいのお嫁さんたちの交流できる場所があるといいのにな。

住む環境を整えれば、
もつと人の行き来する
町になれるはず。

◆ これからの月館に望む事はありますか。
渡辺 住む所を整備して欲しいと思います。アパートもあるけれど、数も少ないし。

半沢 企業を誘致しても、住むところがないと外から人は入りづらいかもしれませんね。

高橋 バイパスの予定地のあたりに、駐車場付きの大型ショッピングセンターを造つて欲しい。地元の店もテナントを出せるような。

半沢 駐車場のある郊外店は必要ですよ。

菅野 大きな買い物の際は、福島市まで車で出かけることが多いですね。

半沢 商店街は、道幅が狭くて駐車スペースがない。県都から遠くもなく近くもないという立地だからこそ、交通手段の改善をして欲しい。

渡辺 今は、外に働きに出る方がほとんどだから、そのための利便さ、快適さは欲しいと思います。でも、農業も含めて後継者問題を考えると、私たちの世代で親不幸なのかな。自然とか歴史とか、良い面を残しながら、町に住む人がみんな豊かになれるといいですね。

ありがとうございました。

